

メナード化粧品は心をこめてメナードレディがお届けいたします

建設へ

政府の無償資金援助と中国政府の資金により建設されるプロジェクトで、日本政府は建設費百三十七億のうちの百一億を無償供与するに決まっています。

中国青年一〇〇〇名、

日中青年交流センターの定礎式
に出席した中曽根総理は、あいさ
つの中で、今後五年間にわたり毎
年二〇〇人の中国青年を日本に招
く計画を表明した。

また、先にソウルで開催された
アジア大会に出席した中曽根総理

渡辺 宏

今、日本の子供達は虐待死していると言われている。学校内の子供同志による「じめ」、強化する「愛護戦争」の実態、若化傾向のとは、おまけ性質を異にしている。幼小の頃から、何つかの競争に駆り立てられる中で、彼らの価値観や忠義はかつての子供のものとは、おまけ性質を異にしている。

を逆さ革命の非行。日本の千供達の體がこれいふ状況、様々に報道される中で、「じじめ」は、その性格・論議を加え、それを閑閑として、千供達の目録が多数発生するに至って、ひとつの大きな躍昇は、何も代たけのものではなだらう。それは、いつの時代も閑達の問存在したものの、それを取りまき諸々事案の、そつたものがむづかに変たもの

にたれど、今、日本の子供達は、最も
不都合を感じて、深刻さを増して
いる。この事態に、心を痛めない
大人は、おそらく誰か一人いな
いであらう。誰れか、この問
題の原因果を解明し、力をそそ
ぎながらも、問題のありにおそ
く強かに、狼狽しているもの
生活に、国外へ働きを求めた。

事實ではなだらうか。
日本の片遣達は今、一休いかなる変化が起つてゐるのだらう。我々自身の片遣代を思ひ返して比較してみると、確かに片遣達の氣質は委容している。受驗戦争、墨

それは三つの戦つという形をうつて表はれた。世間平和の爲めにいてゐるのか、大東亜共榮圏としてゐるのか、といった名目掲げながら、その実、限られた日本の国土と資源では、適さずれば、至

これは、昭和三十九年度から実施主体となり、各青少年団体が委託を受けて行われている。

愛知・三重
ハ九州ブロック集会、
期日 昭和六十二年二月六日、

にも、青少年団体のあり方につ
 て、研究協議するブロック集会
 中部及び九州ブロックを対象に
 実施する。

このブロック集会は、昨年「東
 ・北海道」「中国・四国」の各

会場
 福岡県立社会教育総合セ
 ンター
 対象地域 福岡・佐賀・長崎・
 熊本・大分・宮崎・鹿児
 島・沖縄

ロッテが実施された成果を上げて ものである。 開閉日及び会場 八山澤「ロッテ集合」 期日 昭和六十二年一月三〇日 (金)二月一日日 会場 関立中央青年の家 (蒲殿市)	経費 五千円 参加費 宿泊費 親主者負担 居住の県庁所在地か う会場の往復交通 費は二便者負担 参加対象 青少年団体活動関係者、青少年
---	--

対象地域 新潟・富山・石川・
福井・長野・岐阜・静岡
者 教育行政関係者、学校教育関係者

「過失の爲の御正座」といふ、は家なつて、その方向は未開でさだかはない。その中で、人々はたゞ振舞つていふ言えなだらうか。親の目は、全く満ち足りるにもかゝらず、子供達の心虚感をも、それは我が大達心の虚感であると言へる。子供の荒狂し、現代社会に押し込まれた人々たる者、選択したのは、経済発展による利便と繁栄であつた。その時、我々の選んだのは、経済発展による利便と繁栄であつた。その時、我々の選んだのは、経済発展による利便と繁栄であつた。その時、我々の選んだのは、経済発展による利便と繁栄であつた。」

に働き、精力を高め、己の生
水準の向上を志すことによって、
日の豊かさを日本を期待し、それ
で進んだ。経済成長成達の時代
である。日本の経済は、順調に成
を続け、人々は散財、節手から、
が病んでいる、というこの世し
である。あつたしく、目まぐる
しく動く社の中で、我々は常に
何かに追い立てられ、何を忘
れたよな、何をどこかに置き
忘れてきたよな不安感、悶われ

くは早く立ち直つた。ある日
がつかつてみると、日本捕し
され格闘的経済大國として世
の注目を浴び、人々の生活レ
は向上して、物質的には満
ちあふれていた。しかし、人々
は二日の苦勞が、ますます、

なから、餌を送っている。そ
には、もはや物事を完成させた
感もなく、何かを忘れたような
不満足感を残して、一日のタ
をける運を。今日も明日も、同
じ状況の繰返しに過ぎず、

かを去つてしまふたのではないにか。その証拠に、敗戦の後の成長と物の器かさ、という目標が達成されしあと、今度は、目標を失つてしまつたのだ。今や日本は、無目標国である。過度に期待するとは虚しさを生みかけてゐるのだから、前進的展望も、未来の展望も

推進セミナー

昭和四十一年発足以来、わが国青年のボラチヤ活動の普及推進に尽力している仲日本青年奉仕協会は、企業の人々にによるボラチヤ活動の一層の推進のため調製せしめる昭和三十九年度刊行している。本年度は、来る二月一日（公）五十二日水）にかけて日本青連で開催する。以下はその要案内である。	参加費 二円（資料代含） 食費代 二円（バナナ代・ 昼代実費） 宿費 五八円同（日本青年館） 朝代込実費 申込締切 昭和六十年一月十日 申込方法 所定申込用紙に記入の上、日本青年奉仕協会 案内ボラチヤ活動 推進課まで送付のこと ※申込の欲しいは友愛青年
--	---

テーマ 新しい活力を求めて
——ボランティア活動と企業——
主催 (株)日本青春奉仕協会
後援 文部省、労働省、経済
団体連合会、日本商工会
議会
◇◇プログラム概要◇◇
・講演 ボランティア活動の未来
西村秀俊氏
(朝日新聞社説委員)

協力 日金経済岸協賛会
日程 昭和十一年二月二〇日
(公)二十一日(水)
一四時

会場 日金岸館

講演所 日金経済団体連
盟、朝日全経新聞社、
中央食店、尾崎、
「フウ・マイ・タウ」
フィルム映

正例発表及び表彰
全国の活動例を発表し、
優れた例に労働内、文部
大臣、日金経済新聞社の賞状
を贈呈する。

○協会及び各分会

○三(四〇一)〇一〇一
(新宿区霞ヶ丘町十五)
。記念講演「誰もが光り輝くために」——もう一つのむかしはな

考ふたに虚しい。人類の長い間の歴史的願望あつた長寿を、我々は手にしなから、そして虚脱感、自らの「生」すも、疎ましく思つてゐる。現の日本人は、物質の豊かや裕かきける日常、物質の「生」に倦み疲れてゐるのかも知れない。「生」の式を行つた。

価値感というものを尊重し、それは、ある意味で「生」そのもののすなわち正しいまじいものである。何事にも、物事を深く考える。時代、それが現代の時代なのである。貧乏から脱

式典には賛否多数がつけめかけ二〇四年を祝った。武修後はダンスパーティーを開き、観衆を深めた。

朋潮支部では、現在、友愛山莊を作ろうと関谷及び山村が計画

出は、物質的にかき集束と化した。現在、日本は物が物がな国であつた。しかし、物質が豊かであつた以上、はたして心豊かであつたか。我々は、この殷の繁榮の流弊の中で、夫てよゝなを、わづらつた。

中央日誌

日14 帝王天武天皇の事

ではないだろうか。
わたなべひろし
流通経済大学社会教授

15	日独キナ訪連団加盟 閉団閉盟
20	中東連閣際会 （日本青年館）
29	中東常任委員会 （本部）

第二十二次東南アジア
節閉帰国

15 日独セミナー 訪独団
20 中青連国際委員会
29 中央常任委員会
(本)

沖縄県の那覇支部（池原興一代表）は、この度結成二〇周年を逆

え、去年十一月二十日、那潮市
面（公議所）において二〇周年記念
式典を行った。
式典に出席者多数がためかけ
二〇周年を祝った。式典終了後は
ダンスパーティーを開き、懇親を
深めた。

那潮支部では、現在、友愛山荘
を作つと関係者及び全園が計画

を立っている。今後は三〇周年を目ざし一丸となって建設を促進していくことである。

15 日独ゼミナー訪独団帰国
20 中青連国際委員会 (日本青年館)
29 中央常任委員会 (本部)



東京都世田谷区中町四一七一一三
電話(七〇〇)一一三一—四番

株式 会社 中 嶋 組

取締役社長 中嶋 信行

営業品目

アフパルト系舗装工事
セメント系舗装工事
その他各種舗装工事
舗装に付帯する各工事

営業品目

紙業関係…紙業全般の企画・デザイン・製造加工
化成製品関係…ビニール関係製品の企画・製造
システム関係…ビデオ全般における企画・製作電算機関連機器の販売・設計・プロブ関係…マイクロ写真、電子コ
織維関係…染色、加工、印刷
食品関係…罐頭ブランド商品の企画販売塩干及青果物、その他一般食品の販売

 ニッセイ株式会社

本社 東京都千代田区外神田4-5-4
TEL03-253-7581代
大阪・五反田・茅場町・京都・川崎
静岡富田富士工場 倉庫 高島平倉庫

明日を拓くシステムと技術の東洋実業グループ／

●清掃等建築物の環境衛生一般管理 ●冷暖房
空調、電気関係等設備の管理 ●警備、保安
案内、受付、電話交換、駐車場管理 ●公園管
理 ●原子力セキュリティ、放射線管理

 株式会社東洋実業グループ

株式会社東洋実業

代表取締役 吉川 智 堯

札幌本社
札幌市中央区北6条西22丁目1番50番地14
☎ (011) 612-1911(代)

東京本社
新宿区西新宿1丁目11番2号(新宿野村ビル)
☎ (03) 345 0531(代)

大阪本社
大阪市淀川区西中島4丁目16番29号
☎ (06) 306 5767(代)

インテリア時計製造販売

 **ホダガ クロック**

株 式 会 社 穂 高 産 業

代表取締役 **渡 辺 義 隆**

本社 岐阜県美濃加茂市下米田町小山160-2
〒505 T E L 05742-5-2789 (代表)

第一工場 美濃加茂市下米田町小山
第二工場 美濃加茂市枚野町
営業所 岐阜市高野町3丁目

北海道友愛山荘

青年の家



〒047-01 小樽市朝里川温泉2-670-3
TEL. 0134-54-7360
函館本線小樽駅下車 バス30分

軽井沢友愛山荘
ユース・ホテル



〒389-01 長野県北佐久郡軽井沢町
TEL. 02674-2-2477
信越本線軽井沢駅下車 徒歩7分

磐梯友愛山荘
ユース・ホステル



〒969-31 福島県耶麻郡猪苗代町宇葉山
TEL. 02426-2-3424
磐越西線猪苗代駅下車 バス10分

尾道友愛山荘
ユース・ホテル



〒772 尾道市千光寺公園内
TEL. 0848-22-5554
山陽本線尾道駅下車 バス20分